

NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社
2018年10月1日

日本政策投資銀行の環境格付融資で最高の格付取得

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森重樹、以下「NSG」）は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）の「DBJ 環境格付」*において「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高の格付を取得し、それに基づく融資を受けました。

今回の格付取得において、NSG は DBJ より以下の 3 点を高く評価されました。

- (1) グローバルな事業領域を有する中、堅実かつ高度な環境経営を実践し、VA（高付加価値）製品の普及拡大、サプライチェーンへの配慮等を通じ、持続可能な社会の実現に向けたサステナビリティへの取り組みを推進している点
- (2) 長期戦略ビジョン「『VA ガラスカンパニー』へ変容・変革する」を掲げ、革新的な高性能ガラス製品の分野におけるグローバルリーダーとして、経営戦略とサステナビリティへの取り組みを一体化させている点
- (3) 昨今の情報開示の潮流を捉まえ、2018 年度より統合報告書を発行し、社会と環境のサステナビリティに対し永続的に貢献すべく新たな価値創造に取り組んでいることを社外のステークホルダーに積極的に情報発信している点

NSG は、安全性と快適性の向上に役立つ VA 製品の提供と気候変動の影響軽減により、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

* 「DBJ 環境格付」：<https://www.dbj.jp/service/finance/enviro/index.html>

日本板硝子株式会社（NSG グループ）は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918 年に創業し、グループ従業員数は約 27,000 人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100 カ国以上で製品の販売を行っています。
<http://www.nsg.co.jp>